

# サイエンス&イノベーション・ インテグレーション (S&II) 協議会について

## ご挨拶



鶴保 庸介  
内閣府特命担当大臣  
(科学技術政策)

光ファイバー、3Dプリンター、薄型テレビ…たくさんの日本初の要素技術が世界を革新させてきました。しかし、それらの分野で日本の企業が世界一というわけではありません。たくさんの科学技術シーズが、それも世界が羨むようなシーズがあちこちに埋もれている日本。これらを実装化し、成長のエンジンとしよう、これまでも様々な形で努力してきました。しかし、日本の規制や商慣習などがこれを阻み、必ずしも成果を上げているとは思いません。

ベンチャーが生まれにくいのは日本人のリスクをとる気質が少ないためだ、と片付けるのは簡単ですが、ならばどうすればこれを打破できるのか。私はここで質問を現場に向けたいと思います。ベンチャーがどうすれば育つのか。阻むものは何か。

そのためにその答えを持つ現場の皆さんに是非お集まりをいただき、継続的にこの答えを模索していただきたい。そしてそのなかで情報交換をし、ベンチャーを育てるメンターが協力していただけるような場、メンターがよりパワーアップするような場を作っていただきたい。

必ずしも明確な形があるわけではありません。しかし、国としてできる限りの協力をする。その決意をもってまずはその『場』を提供する。皆さんがこの趣旨に賛同していただき、自らが積極的に関与していただくようになる時、この国は初めてイノベーション大国になっていると期待しています。

鶴保庸介

## S&II協議会について

### 1. 協議会の目的

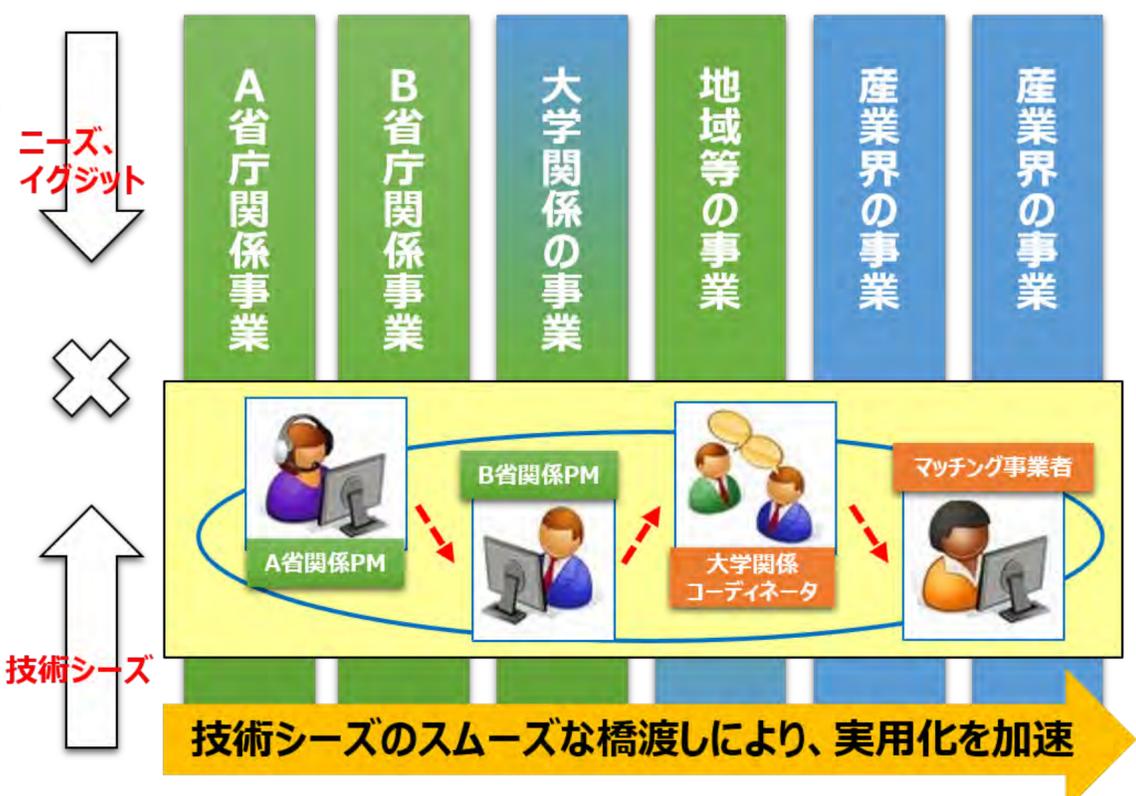
各省庁や産業界、地域レベル等で個別に実施されている関連事業に従事する多様な人材同士が、事業横断的・業際的に相互の活動や成果等を共有し、より柔軟なコラボレーションが活発に創造される自律的なコミュニティ形成を目指します。

### 2. 主な活動内容

- ① 人材レベルの自律的な連携と交流の促進
- ② 各種マッチング事業やベンチャー支援事業等の俯瞰・可視化
- ③ 政策提言等

### 3. 組織・会員

会員は、趣旨に賛同する産業界・行政機関等から個人、団体レベルで広く募集します（会費は徴収致しません）。



～ 人的なつながりが、事業や組織を超えた発想やコラボレーションを創造～